



Meito 1年進路だより

2023/01/26

No.07

名古屋市立名東高等学校進路部

1年生のみなさん、こんにちは。1月14日(土)・15日(日)、3回目となる「共通テスト」が実施されました。3年生はいま、共通テストの自己採点をもとに、国公立大学の出願の準備をしたり、2月から始まる私立大入試や国公立大の個別試験(2次試験)に向けて努力を重ねたりしています。2年後はみなさんが「受験生」です。引き続きコロナ対策をとりつつ、名東高校をリードしていく2年生になる準備をすすめていきましょう。



◇◇◇ 2023年「共通テスト」結果速報! ◇◇◇

先日行われた「共通テスト」の自己採点の結果を、以下に簡単に紹介します。

		名東生平均	名東生最高点	河合塾平均			名東生平均	名東生最高点	河合塾平均
外国語	英語リーディング			56.0	公民	現代社会			60.4
	リスニング			64.0		倫理			60.4
国語				108.7	政治経済			52.4	
	現代文			63.3	倫理・政治経済			62.3	
	古文			23.8	理科	物理			64.9
	漢文			24.6		化学			50.1
数学	数I			41.5		生物			39.6
	数I・A			57.2		地学			50.7
	数II			40.0		物理基礎(50点)			29.1
	数II・B			62.5		化学基礎(50点)			30.1
				生物基礎(50点)				25.2	
				地学基礎(50点)			35.8		
地歴	世界史B			60.2	総合型	理系5-7型(900点)			554.0
	日本史B			61.0		文系5-7型(900点)			542.2
	地理B			61.1		5-6型(800点)			496.4

(注) 名東生データは1月16日(月)集計分。河合塾平均は河合塾共通テストリサーチのデータ。

メディアでも報道されましたように、理科②において、20点以上の平均点差が生じました。このため、大学入試センターは得点調整を実施することを決定しました(理科②の「地学」は、受験者数が1万人未満のため、得点調整の対象となりません)。なお、上記のデータは、得点調整前のものです。

上の表を見ると、名東生は日ごろの努力の結果、ほとんどの科目で、全国平均を大きく上回る得点をとることができました。そのため、名大や名市大など、共通テストありの推薦入試を受ける生徒も昨年に比べ大幅に増えました。また、難関国立大学は個別試験(2次試験)が勝負ですので、気を抜かず、実力を発揮してほしいと願っています。

■減り続ける志願者数－競争緩和の入試環境

共通テストの確定志願者数は512,581人（前年530,367人）で、17,786人減少（前年比97%）しました。志願者数の内訳をみると、現役生は436,873人（前年449,369人）で前年度比12,496人減少（前年比97%）し、志願者数全体に占める現役生の割合は85%と過去最高となりました。現役志願率（令和5年3月卒業見込者のうち、共通テストに出願した者の割合）も45.1%でした。

一方、既卒生等は71,642人（前年76,785人）と5,143人も減少（前年比93%）し、昨年同様、**現役生中心の入試**となりました。大学入試は、ここ数年、急速に**競争緩和**しているので、志望する大学にチャレンジできる学力を身につけよう。

■共通テストにどう向き合うか－河合塾の分析より

共通テストに向けて、どのような力が求められるのでしょうか。

この部分につきましては
著作権の関係により公開いたしません。

■いまから「受験生」になるみなさんへ


受験を終えた名東高の卒業生は次のように語っています。先を見据えて努力を重ねよう。

先輩からのメッセージ～『合格体験記 2021』より～

■僕が大学受験を通して思ったのは、ゴールを先に知っておくことが大切だということです。……2次試験の過去問を解き始めるのを遅らせて、すぐ苦勞しました。なので、これから受験を迎えるみなさんは、自分の行きたい大学の過去問を早いうちから解いておくことをおすすめします。解けなくてもいいので、本番はこのレベルの問題が出るんだ、じゃあ逆算してこの時期までにここまで出来るようにしよう、などというように先を見据えた上で自分の取り組むべきことを決めるといいと思います。（理系の生徒）

◇◇◇ 大学入試までの流れを知ろう！ ◇◇◇

入試の流れと、その時期の先輩たちの学習状況などをあわせて把握し、より具体的に自分が受験生になったときの動きをイメージしましょう。また、**今できる!**の欄については、いまのうちから積極的に取り組んでいきましょう。

時期	流れ・先輩たちの学習状況など	今できる！・補足情報など
1年生	3学期～1学期 実力考査(4月)・学びの基礎診断①(7月) 2学期の文理選択に向けて、入試のしくみを理解し、気になる大学・学部研究をすすめたという先輩が多いようです。学習面では、定期考査に向けた学習はしっかりこなしていました。それが3年生の受験勉強につながったようです。	今できる! ・授業を中心に、「予習→授業→復習」のサイクルをつくろう！ ・3月は高校入試の家庭学習日や春休みなど、自習の時間が増えます。1年生で学習した内容を見直し(とくに英語・数学・国語)、苦手分野を克服しよう！ ・平日でも学年+1時間以上の学習時間の確保を目指そう！
	夏休み オープンキャンパスに参加(7～8月) 夏季講座(7～8月) 夏休みは、苦手克服のチャンス。文化祭準備で忙しいけれど、先輩たちは、徹底的に復習を行い、基礎力の完成を目指しました。	・3年生の夏休みは受験勉強で忙しいので、2年の夏休みこそいろいろな大学のオープンキャンパスや大学説明会に参加しよう！ ・学校の夏季講座を受講して、弱点を補強しよう。
	2学期 実力考査(9月上旬)、名東祭(9月中旬) 修学旅行(10月中・下旬) 全統高2模試(10月下旬) 2年生の秋は、文化祭・修学旅行で忙しいけれど、将来も見すえた科目選択の時期。先生や保護者、先輩にも相談しながら、決めた先輩が多いようです。	・修学旅行後の教科登録、全統高2模試をきっかけにして、そろそろ受験を意識しはじめよう！ ・文理選択をしたあとも、「捨て教科」はない。理系の生徒も国語、文系の生徒も数学をしっかり勉強して、逆にライバルに差をつける得点源にしよう！
2年生	3学期 実力考査(1月)、全統高2模試(1月下旬) 受験まであと1年という時期。改めて気になる大学・学部研究をすすめたという先輩が多いようです。	・2年生の3学期は3年0学期。1・2年生で学習した内容を見直し(とくに英語・数学・国語)、苦手分野を克服しよう！
3年生	1学期 実力考査(4月) 共通テスト模試①+記述模試①(5月) 入学選抜要項発表 新学期。部活動も引退の時期。1・2年生とは異なる学習環境が始まります。いいスタートが切れるよう、学校の授業を中心に毎日学習する習慣を身につけていました。	・5月に行われる模試から既卒生も参加してきます。はじめはなかなかいい判定は出ませんが、本格的な受験勉強ははじまったばかり。志望校をあきらめず、努力を重ねよう！ ・基礎固めをしっかりと！ 

◇◇◇ 地方の国公立大学に目を向けよう！ ◇◇◇

進路希望調査の結果を見ると、名古屋大、名古屋市立大、愛知県立大、愛知教育大、名古屋工業大など、地元の国公立大を中心に志望が集中しました。しかし、全国を見渡せば、その地域に根差した「教育」「研究」「社会貢献」に取り組み、世界から注目を集める個性的な教育・研究を行っている地方の国公立大学があります。例えば、信州大学繊維学部や和歌山大学観光学部、滋賀大学データサイエンス学部、千葉大学園芸学部、秋田大学国際資源学部などがあり、実際、昨年度の名東生は千葉大学園芸学部や金沢大学人間社会学部、香川大学農学部などに合格しました。

一般的に**国立大学は、教育面や研究面ですぐれた環境があります**。教員1人あたりの学生数を見ると、私立大学では19.6人であるのに対し、国立大学では9.5人、公立大学では11.2人です（令和元年度学校基本調査より）。先日、愛知県立大学教育福祉学部の先生からメールをいただき、そのなかで、その学部・学科では、2年生の今の時期にゼミ分けをしているそうですが、「1人の教員につき、学生3人がmax、教員が認めればそれ以上の学生数もあり、という原則です」とあり、とても驚きました。本当に恵まれた環境のなかで学習することができるのです。また、とくに国立大学の工学・理学・農学・医学など自然科学系では、研究を行うのに必要な施設・設備にお金がかげられ、私立大学に比べて圧倒的に充実しています。このような環境で学べることも国立大学のメリットです。

また、地方という点では、全国各地から学生が入学するため、ひとり暮らしの学生が多いのが特徴です。ワンルームのアパート・マンション（1カ月）の家賃は都市部で6～10万円ですが、地方では2～5万円ですみます。また、ひとり暮らしをする学生の多くが、大学周辺に住んでおり、徒歩か自転車で通学しています。通学にお金も時間もかかりません。4年間通うことを考えれば、**都市部での生活と比べて格安ですむ**こともメリットの一つでしょう。さらに、全国各地から学生が集まるという点では、価値観の異なる多様な学生と出会いも、その後の人生において大きな財産となるでしょう。

ぜひ広い視野をもって学びたい大学、学問を探してください。

I nfomation

◆名市大×名東高 特別企画「名市大の学生と語ろう」！

進路部では、昨年度に引き続き、1・2年生を対象に表題の企画を予定しています。名市大の学生（なかには名東の卒業生もいるそうです）をお招きして、大学受験や大学生活、大学での研究などについてお話をうかがいたいと思っています。

日時は**2月15日（水）16時～17時**、会場は**社会科講義室や北4展**を予定しています。まもなく募集を開始しますので、今しばらくお待ちください。名市大の学生と語り合いたいというみなさんの積極的な参加をお待ちしています！

